

Oct. 1936.

215

MATSUMURA, Index Pl. Jap. II (1912) p. 633.

Senecio Inumae MAKINO in Tokyo Bot. Mag. VI (1892) p. 55 nom. nud., X (1896) p. 72.*Cacalia Inumae* MAKINO in Tokyo Bot. Mag. XII (1898) p. 80.*Senecio Makinoi* C. WINKLER in Acta Horti Petrop. XIII (1893) p. 6

Nom. Jap. Oh-momijigasa, Tosano-momijigasa, Momijigasa.

Hab. Japonia, Hondo, Iwaki, Hidachi, Musashi, Shinano, Yamato, Kii, Tajima, Iwami, Bingo. Kiushiu, Chikugo, Bungo, Higo. Shikoku, Iyo, Awa, Tosa.

フォーリー氏採品の地名二三に就て

大井次三郎

故 U. FAURIE 氏が本邦植物學界に貢獻した事は實に大きくその足跡も本邦領内殆ど全部に亘つて居る。又その標本のラベルも比較的正確ではあるが、外國人であつた爲めに地名については今日はつきりせぬ名稱があるのは残念である。Guwassan, Ganju, Shakotan, Bunkiko 等が各々羽前月山, 陸中岩手山, 北海道後志國積丹, 臺灣阿里山に近い奮起湖であるのはよく知られて居る。Mt. Tsurugi (san) は阿波國劍山でその内の一部。初期のものは東北地方のどこかの相當高い山を指すのであるがはつきりしない。Okumasan も東北地方で多分 Okomasan の誤記であらうが御駒山と云ふのが東北地方に數座ある。しかし恐らく陸中駒ヶ岳の事を指したのであらう。Mt. Komagatake は西駒か東駒かはつきりしない。Adzuma は宮部金吾先生の御厚意によつて北海道の苫小牧に近い厚真である事がはつきりした。植物名鑑では Kamitsuge を上野國と解して居るが此れは伊賀國の上柘植の事である。

抄 録

耿以禮氏：— 亞細亞産トダシバ屬の種類 (Y. L. KENG, Asiatic Species of *Arundinella*, in National Central University Science Reports, ser. B, Biology, vol. II, No. 3, pp. 1-8, June 30, 1936 (May 30, 1936).

トダシバ屬 *Arundinella* RADDI は始め南米のブラジル産の種類によつて記載されたのであるが、殊に亞細亞の熱帯に多く本屬の大部分を占める。僅數が暖帯に固有であつて全世界で約 50 種程に上る。本書はその内の亞細産の種類 32 種に關する綱要でまづ本屬を Subgenera, 1. *Psilachne*, 2. *Chalynochlamys*, 3. *Arundinella* proper. 4. *Miliosacch-*